

第2次那須塩原市総合計画 第5回 審議会

開催年月日：平成28年9月30日(金)

開催時間：10時00分～12時25分

開催場所：那須塩原市役所本庁舎303会議室

委員

No.	氏名	出欠	No.	氏名	出欠
1	阿久津 裕	○	16	佐藤 幹雄	○
2	網代 用子		17	佐藤 由紀子	○
3	安宅 勝	○	18	澤田 友喜	○
4	伊澤 昭夫	○	19	相馬 賢市	
5	石下 かをり		20	高久 結理	
6	薄井 海雄		21	高松 英樹	
7	榎本 建司	○	22	西田 由記子	○
8	大島 三千三		23	樋山 則男	○
9	大野 昌弘		24	平山 博	○
10	菊池 太輔	○	25	村山 茂	○
11	君島 章男		26	室越 礼一	○
12	君島 正三	○	27	目黒 ケイ子	○
13	君島 将介		28	柳場 美枝子	○
14	君島 理恵	○	29	山島 哲夫	○
15	越石 直子		30	渡邊 亮	○

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

【会長】

それでは議事に入りたいと思います。

(1) 第2次那須塩原市総合計画前期基本計画の施策体系(案)について、事務局から説明をお願いします。

(1) 第2次那須塩原市総合計画前期基本計画の施策体系(案)について

(資料1について事務局説明)

【会長】

ありがとうございました。膨大な施策体系でございますが、質問等ありましたらよろしくお願ひいたします。

【委員】

まず、資料の文字が小さくて見づらいので、もう少し大きくしていただきたい。

【会長】

第1次総合計画の体系からは組み直したという形となっています。また、今回新しく基本政策「地域の力と交流を生み出すために」が加わったということです。

中身が多いのでどこから議論していいかとは思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

この中に用途地区の変更は入っているのでしょうか。

西那須野地区の大山小学校あたりは下水道が引けないような地区になっていると聞くので、用途の使用変更を考えていただければと思います。

【会長】

ご要望ということでよろしいでしょうか。

土地利用をどうするかは具体的な施策の中身になってしまうので、施策体系の中では土地利用の適正化は4-①「計画的な土地利用を推進する」になりますが、具体的な中身として、例えば「都市計画マスタープラン」や「都市計画の変更」がそちらに入ってくるようになります。

【委員】

なかなか出られなくて申し訳ありません。

第1に観光施策で、どちらかというと観光従事者のみの施策というイメージを受けました。今後2020年のオリンピックに向けてインバウンドの強化もありますが、外国人の方も含め、ますます那須塩原市にやってくるのが想定されるときに、観光従事者だけでなく、市民一人ひとりが観光都市の一員であるという意識を高めることが大切だと感じています。

いくら観光関係者が頑張っても、最後に駅で一般市民に聞いた一言にがっかりするようなこともありうるので、市民ひとりひとりのおもてなし意識を高めるという施策があったらよいと感じました。

また、前回と比較して、今回は担当課が入っていることを評価したいと思っています。実際にどこが担当するのかが分かりやすい。基本施策別計画の実際のレイアウトにも担当課を入れていただくといいと思います。

日頃、市のどこに問い合わせをすればわからないことがあります。行政の横の連携が取れてないので、提案として、市民の相談窓口として「市民生活コンシェルジュ」のような担当部署を、現在も玄関に案内役がひとり立っているだけでお客様が話しやすくていい取組だと思うが、そういった部署を設けて、横の連携を取ってくれるとよいと思います。

あと1点、生涯学習という言葉ですが、「学習」という言葉にすると固い印象を受けます。市民の心と体を豊かにするという課だと思うので、もう少しやわらかい言葉にすれば生涯学習に対する敷居が低くなって参加しやすくなるのではないかと思います。

【会長】

基本施策「観光を活性化させる」を見ると2施策で、取組内容にはインバウンドとか首都圏向け観光プロモーションなど、市全体で取り組む芽は出ているので、市全体として打ち出すということはこの中に加えるということだと思います。

問い合わせを受ける際に、専門の部署を設けるのは難しいと思いますが、市の中で問い合わせがあった際にぐるぐる回さないように、市の職員が認識していくということだと思います。

「生涯学習」という言葉はかなり前から使われているので、具体的な説明をするときにどうするかだと思います。

【委員】

観光施策は市全体の取組も充実してきており、関係者も頑張っていますが、さらに一歩進めて、市民一人ひとりが観光立市の一員であるという意識を高めるために何か施策があるといいなと感じました。

【会長】

具体的な施策「観光地としての品質を管理する」の取組内容で、市民一人ひとりが対応することを入れるようなイメージでしょうか。

【委員】

そこに一行入れていただければありがたいです。

【委員】

6 ページの基本施策「中心市街地を活性化させる」で、黒磯駅と那須塩原駅が入っているのですが、西那須野駅も入れて都市計画を考えてほしいと思います。

【会長】

この「駅周辺地区」には3 駅全て入っているのですか。

【事務局】

具体的な施策「まちなかの賑わいを創出する」の駅周辺の活性化には3 つの駅全てが入っています。

【委員】

黒磯駅と那須塩原駅の周辺整備はあるが、西那須野駅が入っていないということです。

【事務局】

補足させていただきますが、黒磯駅と那須塩原駅は再整備がこれからということですので、2 つの施策はハード整備ということでの記載です。

西那須野駅については駅周辺地域のハード整備がひととおり終了しており、今後はソフト事業でいかに賑わいを作っていくのかが施策の中心ですので、駅周辺の活性化ということで担保していきます。

【会長】

西那須野駅周辺の整備は終わっているということですね。

活性化の表現として、J R 3 駅がわかるような記載にいただければよいでしょうか。

【委員】

基本政策として「地域の力と交流を生み出すために」を新たに打ち出したことはよいと思いますが、本当に市民の声を聞こうとしているのか疑問があります。他の会議でも話をしたのですが、資料を当日用意して意見を聞くというのは、意見を聞こうという態度なのかなと思います。

市民協働による地域づくりを入れるのであれば、基本的なところから一つ一つやっていかなければならないのではないかと思います。

【会長】

また整理したものは今後も審議会で議論するが、気になる部分があれば事務局に出していただいて、それも踏まえて次回また議論できればよいと思います。

【委員】

パブリックコメントは実施するのですか。

【会長】

もちろん実施します。説明会は実施しますか。

【事務局】

地域説明会を実施します。

【会長】

説明会をして、パブコメをして、それを踏まえて決めていくこととなります。この後も議論をする場がありますので安心していただければと思います。

【委員】

あくまで見本ということでレイアウト案が出ていますが、「課題」と「具体的な施策」を比較したときに、ただ後ろに「充実させる」を付けただけのように感じます。

【事務局】

ほかのところも全てこのような形ではありませんが、似通った表現になりがちなどころもありましたので、整理してお示ししたいと思います。

【委員】

「課題」と「具体的な施策」を1対1で対比させたために目立ってしまったのではないかと思います。

【会長】

仕方ない部分もあると思いますが、できる部分是对应いただければと思います。

【委員】

基本政策2の「まちの安全安心を守るために」で、基本施策「災害に対する備えを強化する」というのがあります。災害が発生した際の初期医療で、国のDMATという災害派遣医療チームが入るのですが、そういったチームの受け入れ体制、支援体制を構築しなければならないと思っています。有事の際の受け入れ体制が、この施策を見ても見えてこないと感じました。実際に職務で熊本地震のDMAT派遣に携わったのですが、行政と保健所の力が弱く、行ったはいいが何をしたらいいかわからないと

いう状況だったようです。

平時の際から支援体制を構築することが必要だと感じました。今は日本全国地震のないところはないというのが意識にあると思うので、市のプロモーションとして、「災害の少ないまち」より「災害に強いまち」「災害を跳ね返す力のあるまち」として市民獲得を進めていったほうがよいと感じました。

【事務局】

2 ページ「災害対応力を強化する」という具体的な施策の取組内容に「地域防災計画の整備」というのがありますが、計画を作るに当たり「防災会議」を設置しており、医療機関にも係わっていただき、有事の際のマニュアル化を図っています。

【会長】

取組内容の中にはご指摘のものが入っているということです。

【委員】

3 ページの基本施策「男女共同参画社会を実現させる」で、女性の労働力を欠かすことができないと感じています。市を挙げて女性の労働力について検討できないかと思えます。

7 ページの基本政策「まちの活力を高めるために」で、林業について触れられていません。百村山から塩原まで極めて重要で、地域保全や観光にも影響するものと感じます。

4 ページの基本施策「公共交通の利便性を高める」で、「広域的かつ総合的な公共交通ネットワークを構築する」という具体的な施策があるが、ここで現在進行中のものはあるのでしょうか。

【事務局】

女性の労働力については、雇用施策の中でどのような表現ができるか検討させていただきたいと思えます。

また林業についてはご指摘のとおりですので、7 ページの基本政策「まちの活力を高めるために」で追加したいと思えます。

公共交通のネットワークづくりということで、現在、那須塩原市、大田原市、那須町、那珂川町の4市町で構成される那須地域定住自立圏構想の中で実態調査を行っています。調査に基づき、行政区域の枠を越え、定住自立圏という組織の中でのネットワーク化を5年間の中で進めていきます。

【委員】

第1次総合計画と比較してみたのですが、今回のほうがコンパクトになっていて分かりやすいと感じます。また、担当課が入っているのは責任の所在がしっかりしていてよいと思えます。

1次と2次を比較して見ますと、政策や施策の表現が「～する」「～させる」となっており、強い意志が感じられてよいと思います。

基本政策「地域の力と交流を生み出すために」が入っており、年少人口が低下している中で「出会い・結婚を支援する」を基本施策として追加したのは非常によいと感じます。

【委員】

7ページの基本施策「雇用環境を整備する」で、国で推進する「働き方改革」というものがあります。地方からも意識を醸成していく取組を進め、結果としてより働きやすい職場になり、女性、障害者、高齢者の方などが就職しやすい環境となるわけですので、市として取組が必要であれば検討いただければと思います。

【委員】

9ページの基本施策「生涯スポーツを充実させる」、国や県のスポーツ振興計画に基づいた施策が載っているのよいと思います。あとは具体的な施策の展開の中で実のある事業につないでいただきたい。

先ほど男女共同参画の話がありましたが、計画の中に「女性の活躍推進」といった項目をどこかに入れられれば、皆さんの期待に応えられるのではないかと思います。

【事務局】

市の総合計画は市の全体を網羅したもので、個別の計画の中でより具体的に出していくという形になっています。総合計画に具体的なところまで書くと膨大な量になってしまうので、かいつまんだ表現になっているのが実情です。

そういった事情はありますが、例えば先ほどの林業の話や、女性活躍の話などは担当の部局と相談し、盛り込めるように調整させていただきます。

【会長】

総合計画に盛り込んでいくべきものと、個別計画で対応するものがあるということです。

【委員】

男女共同参画の中で、市の役職への女性の登用が入っていないのはなぜでしょうか。審議会への女性登用と同じくらい重要だと感じているのですが。

【事務局】

個別計画である「男女共同参画行動計画」の中には記載しており、目標を定めています。

(2) 前期基本計画における重点プロジェクト（案）について

(資料2について事務局説明)

【委員】

2ページ目の「地域力とは」で、「誰もが住み慣れた」という言葉があるが、「住み慣れた」となってしまうと、新しく入ってきた人を歓迎しないという表現になってしまう気がします。

【委員】

6、7ページで、「未来力育成」のイメージ図のおかげで全体像が見えていいと思うが、言葉の使い方で「子育て」で「保育園などの整備」という具体的なものを出してしまうと、子育て＝保育園整備と思われるので、例えば「子育て環境の充実」などのように、イメージ図についてはそのような表現にさせていただいたほうが良いように感じます。

【事務局】

具体的な事業として保育園の建設などがあるためそういった表現にしておりましたが、もう少し大きい表現でも差し支えないので、全体とのバランスを考え修正させていただきますと思います。

【委員】

8ページの「都市力成長」で、新庁舎整備について記載されていますが、整備については賛成でも反対でもないのですが、新庁舎を整備することが人を呼ぶ力につながるのかご説明いただきたいと思います。

【会長】

今おっしゃっているのは外からの人ということだと思いますが、いかがでしょうか。

【事務局】

現在庁舎建設は一時中断していますが、市民も使用できるような施設も含めた中で、の公共的な庁舎という形での構想をまとめたところです。

それが転入増につながるかということについて確約はありませんが、コンセプトとしては市民も活動の場として使えるような庁舎として検討してきました。

今後検討再開の際にはそういったことも踏まえていくといくことで、今回「都市力成長プロジェクト」に加えさせていただきました。

【会長】

今年2か所新庁舎を視察しましたが、1か所ではイベントをやっている人がたくさん集まっていた。市内の人が集まって色んなことができると交流も深まるかと思えます。

【委員】

複合的な庁舎で中の人を呼び込むということなら納得するのですが、それだと「都市力」よりは「地域力」なのかなと思いました。

【委員】

8ページで、政府機関の移転や首都機能バックアップなどに取り組むことは大切なことだと思います。国会等移転であれだけ騒がれたわりに現在まで何もない。せっかく選ばれた土地で、あれだけの土地があってもったいないと感じているので、国や県に声を大きくして、早めの実現できるように取り組んでいただきたいと思います。

【委員】

P T Aの代表で出席させていただいていますが、教育関係については充実していて申し分ないなと感じています。

子どもの数が減ってきているということで、私の学校では前年度と比較して10名減、6年ほどさかのぼると全校生徒が30～40名減っています。

今重点的に取り組むべきことは子どもの減少を食い止めることで、大きな目的のかなと思います。

【委員】

消防団の確保、自治会加入率の低下、子どもたちの成長の3つを今後の計画に取り上げていきたいと思っていたので注目していきたいと思います。

ほかにも学童の安全ボランティアへの支援や、空き家空き地がこれからどうなるのかが気になります。駅前もそうだが、そのあたりに草が生えた空き地がたくさんあります。国の施策を待つのではなく、市独自の取組をしてはどうかと思います。

市内の中学校でソフトボールが全国優勝しました。少子化のなかで頑張り、知名度アップにつながったと思います。さらにバックアップをお願いしたい。

【委員】

総合的に考えると夢と希望を実現させるということでよいと思いますが、なかなか結果が伴わない。雇用の問題をまず考え、男女共同参画も大切だと思います。結婚できる環境づくりが大切です。農村でも人が減り、結婚しないから子どもがいない。

施設を作った、道路を作った、でも誰もいないでは仕方ない。人口を減らさないための施策が必要なので、子育て施策も大切です。

【委員】

消防団員の確保の関係で、5年前に岩手に視察に行ったが、消防団の役割が非常に大きかった。女性消防団の検討も含め、非常に重要と感じている。

今後も消防団員を確保するために、目に見える部分で何かしらのメリットがあればいいように感じます。

【委員】

3点あります。

資料1の7ページ、具体的な施策「観光地としての品質を管理する」の取組内容で「受け入れ体制の整備」とありますが、2次交通が乏しいと言われています。観光での横の移動ができないとならないのですが、商工観光課だけでは難しいので、公共交通についての横のつながりを持っていただければと思います。

同じく7ページで、具体的な施策「地域経済を持続的に発展させる」で、これから人口減少は避けられない中で、これから10年の計画を作っていくのであれば、成熟した社会の中で商工業者がどう生き残っていくのか、右肩上がりに発展させるのが難しいなかで、準備をしておく必要があるかと思えます。

市民活動センターの設立はすごくよいと思います。NPOを立ち上げているがなかなか運営が難しく、社団法人やNPOを応援する仕組みが必要と感じています。

【会長】

色々なところに行きたいが、バスの時間をみてもなかなかない。車がないと対応できないのは栃木県全体でもそうですね。なかなか難しいですがご意見はよくわかります。

【委員】

総合計画は色んなことが盛り込まれていて、これが全て実現できればいい市になると感じています。重点プロジェクトでの推進体制のように、市全体で見守りながら計画を達成させるような、私たちが話し合ってきたことが生かされる計画になってほしいです。

先日「住む人が減少すると都市がこわれる」という内容のテレビを見たのですが、土地の状況について市で確認などはしているのでしょうか。

【事務局】

今年度、空き家の調査は実施しています。今後、空き家の有効活用や未利用地が使えないかということになりますが、個人の持ち物なので勝手に使うことはできません。所有者と連絡を取るなどが必要になりますが、現在は調査などの地道な作業を進めています。

【委員】

重点プロジェクトの推進で「PDCAサイクルを回す」となっていますが、ここで

は内部評価をする意味だと思えます。その中に、外部評価を入れる動きはないのでしょうか。市民協働で進めるのであれば、市民の目も入れて評価していく仕組みを今後検討いただきたいと思います。

【事務局】

評価については内部評価ですが、検討事項としてお預かりいたします。

【委員】

「県北の中心都市」という表現が気になります。「県北の要」という表現でもいいような気がします。

【会長】

資料1は施策体系ですが、第2次計画では、分野横断的に進めていく「重点プロジェクト」を設定し、これが那須塩原市が目指していくものとして形になっているのだと思えます。

プロジェクトの推進についてひとつ気になったのが、取組内容や重点事業はここに書いていることだけでなく、年が進めば色んなことがあり得るわけで、市民協働であれば、この中から市民に実際に考えてやってもらうことも出てくると思えます。また、市でも色んなアイデアが出てくることもあります。

P D C Aだとこの事業を何%やったということにはなるが、「市全体は素晴らしくなったのか」というと見えてこない部分もあります。

この重点プロジェクトを充実させていくために、例えば、若い人が集まって「地域力向上」のために検討するような仕組みをつくるとか、市民も巻き込んで新しいアイデアを出せる場、P D C Aのプランの場があるとよいと感じます。市だけでやるとやったことだけの議論になってしまう。

同じ目標に向かって、行政だけでなく市民も一緒に考える体制・議論ができれば、総合計画らしくなるのではないかと感じました。

【委員】

女性活躍について、一部分だけでなく全体に関連するところに掲げてほしいと思えます。市で特化して、女性が生きがいをもって暮らせるところだということを出してほしいと思えます。

【会長】

「女性が活躍して生き生きしている市」というのが前提だということだが、施策として入れるのはなかなか難しいので、例えば「将来像」の説明の中で「女性は重要な役割を果たす」ということを加えて全体を覆っているようにして、女性の力も入っているという説明を入れるといいかもしれません。

(3) 土地利用構想について

(資料3に基づき事務局説明)

【会長】

第1次計画と比較すると、鉄道沿線全てを市街化するようになっていましたが、今回は基本的に用途地域を中心に市街化を図ることになっているということです。

【司会】

長時間にわたりありがとうございました。基本計画はさらに具体的になったものをお示しし、ご意見伺う機会がございますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

以上で審議会を終了いたします。ありがとうございました。